



「体験的な学び」

校長 三田 和弘

涼やかな秋の風が吹く10月10日(木)に、葵流祭を行いました。歌聲高く、そして、緑の丘を疾走し、舞う生徒の姿がありました。自校の生徒ながら、懸命な姿勢と晴れやかな表情に、本当に誇らしさを感じました。

生徒たちは、葵流祭を通して、協力して合唱や演技をつくり上げることに取り組みました。葵流祭という1年に1度の行事は、仲間と協力して目標を成し遂げるといった意味合いが強いと考えています。

さて、葵流祭の練習の時間、生徒たちから「体験的に学ぶことにより培われる心の力」を強く感じるがあります。その力には、「自立」「自律」「責任感」「共生」「寛容」などがあると思います。『つくる』『表現する』という直接体験は、自分の身体を通して実際に経験する活動です。それだから得られる力なのだと思います。また、このような直接体験から獲得する力は揺るぎのない力ですから、これから先の難問に直面したときに応用が利きます。ましてやその力が、「葵流祭」という生涯忘れることのできない行事の中で学びますから、自信にもなると思います。自信は、『やればきっとできる』という力につながるはずで



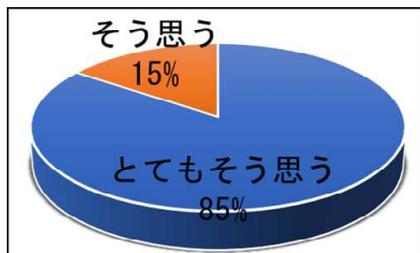
このような心の力は、日々の生活や学習における様々な活動の中でも培われ、とりわけ目標を達成すると、充足感との相乗効果で、より一層の効果があるでしょう。そして、その経験がまた自信につながります。

自信があると「自分なら成功できる」というように、前向きに考えられるようになります。自信があるからこそ途中で立ち止まっても、そこで諦めずにやり方を変えて挑戦できます。そんな思いになる「最後の葵流祭」でした。

以下に、生徒及び保護者アンケートの結果の一部を示します。多くの方々に観覧いただき、本当にありがとうございました。

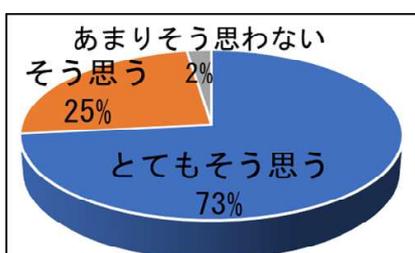
【生徒アンケート】

葵流祭を通して、仲間と協力し、連帯感を深めることができましたか。



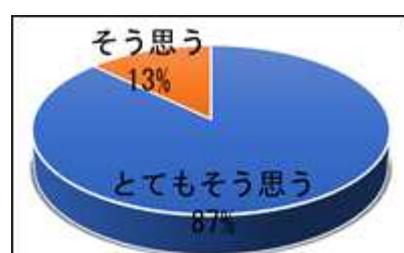
【生徒アンケート】

葵流祭を通して、主体的に活動することができましたか。



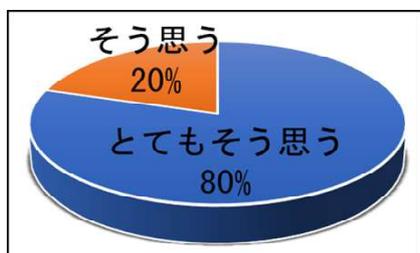
【生徒アンケート】

葵流祭を通じて、達成感や成就感を感じることはできましたか。



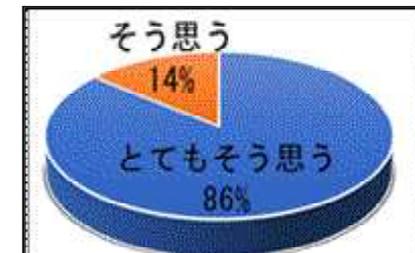
【保護者アンケート】

子どもたちは仲間と協力し、クラスや学年、縦割りで連帯感を深めていましたか。



【保護者アンケート】

子どもたちは葵流祭を通じて、達成感や成就感を感じていましたか。



花様年華 ～これまでの歴史の最終章～



縦割り色別対抗リレー



大縄跳び・・・99回



玉入れ



大玉転がし



天中よっちょれ (全校ダンス)



感想発表



葵流祭

文化・体育の部



縦割り合唱



吹奏楽部

十月十日(木)、天城中学校
最後となる葵流祭が、盛大に
開催されました。3年生を中
心に「気付き考え行動する」
姿が見られ、全校生徒が創り
上げた最高の舞台となりました。



曲紹介

